国際交流委員会委員長　園木翔大

２０２０年に全世界で拡大した新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ始めた事で、人々の交流制限が解除されインバウンド数の増加や、日本人の旅行者数の増加に伴い、異文化に触れ受け入れる機会が増えています。八女地域においても外国人が活躍する時代になった今、地域に住み暮らす若者と外国の若い世代が交流を深めることで、外国の文化、言語、慣習と触れ合い、より国際的な八女地域に発展することが必要です。

まずは、八女に住む若者に世界の文化や歴史、情勢を知ってもらうために、私たちＪＣＩ八女が積極的に外国人との交流の場を提供し、情報発信力の強い若者から留学生との交流において体験したことを発信してもらうことで八女地域の魅力を広く世界に伝えていくことが可能になります。そして、留学生と交流することで若者が、日本のみならず諸外国に意識を向けて、若者が自分と異なる価値観や文化的背景、歴史を持つ人々との交流を図り、これまでの常識に加え新しい価値観を受け入れることができます。さらに、違う価値観を受け入れることで新しい価値観を醸成した結果、これまでなかった角度で物事を捉えることができるようになり、その若者が大人になった時に若者自身やその周りに関係する人にも影響を与えることができ、八女地域の課題に関しても、多角的な幅広い考え方を取り入れることで、新たな解決策を見つける糸口になります。また、夏期総会では先輩諸兄姉との交流の中で多くの気づきを得ることで、新たなアイデアを創造するとともに、ＪＣＩ八女の歴史と伝統を引き継いでまいります。

外国人との交流を経験した若者がその経験を経て成長し、今後も継続して国際交流体験を八女地域に広めていくことでその広がりがグローバルな社会に向けて大きな成長を果たし、八女地域の情報発信と外国人が訪れたいと思う魅力が発揮できる八女地域を創ります。

委員会メンバー

副委員長　　田中千啓

委員　　　 大坪逹史　岩本浩平　倉八和生　近藤秀平　川﨑麗華